

# 川と海を行き来するウナギ

～荒瀬ダム撤去の現場から～

つる 詳子



# 撤去前の荒瀬ダム



2002 4 22



2月19日 最後の門柱発破





## 球磨川

流路延長: 116km

流域面積: 1880km<sup>2</sup>

## 八代海

面積: 1200km<sup>2</sup>



# 球磨川流域と河川横断構造物





## 荒瀬ダム

河口から約20km

- ・発電専用ダム
- ・平成24年4月ゲート全開
- ・平成24年9月1日撤去開始
- ・平成30年度撤去終了予定

## 瀬戸石ダム

河口から約30km

- ・発電専用ダム
- ・平成26年3月水利権更新

荒瀬ダムを皮切りにダムや堰が次々できた

## 遥拝堰

河口から約8km

・農業・工業用水取水堰

## 市房ダム

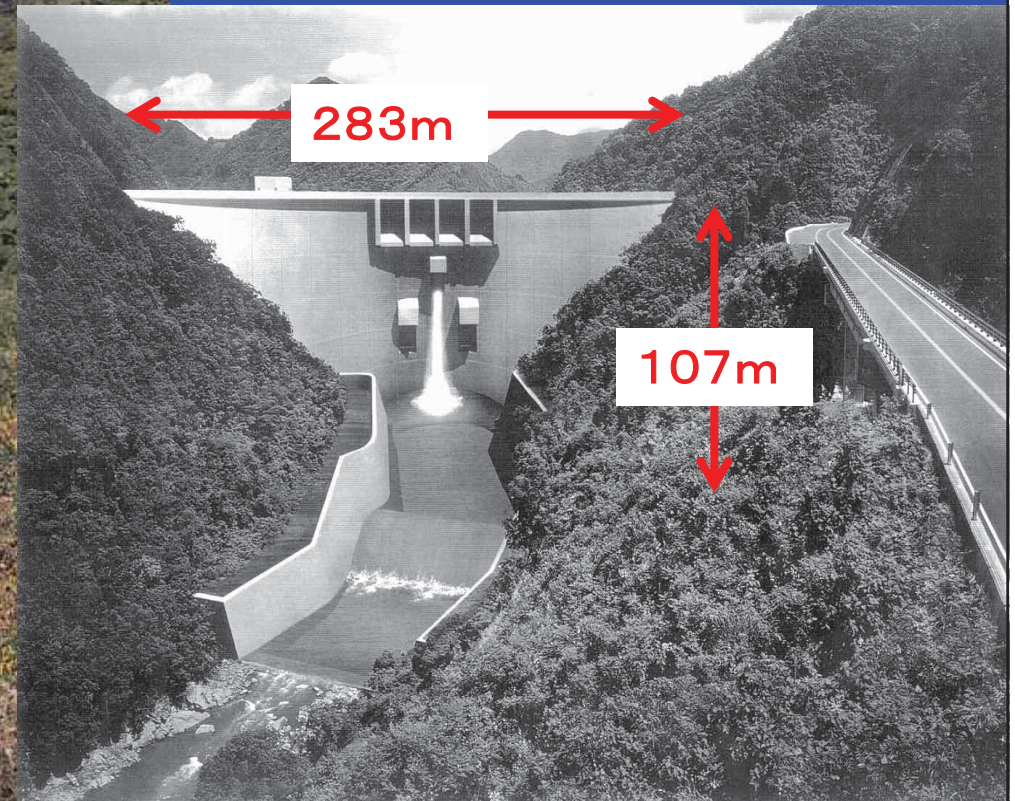
河口から約90km

多目的ダム



# 川辺川ダム 建設予定地と完 成予想図

目的：治水・利水・発電・  
正常な流水の維持







現在、ダムのない村作りが着々と進められている  
(平成26年10月)



ダムが中止になったからこそ守られた清流川辺川

廻り観音(川辺川中流)





# 川辺川下流

毎年、水質日本一に輝く川

提供：手渡す会





# 人吉市内の球磨川

観光の魅力は温泉とアユと球磨焼酎



球磨川らしさが残る中流域

ラフティング







アユや土砂の移動を妨げている瀬戸石ダムがある





荒瀬ダムの直上流



上流からみた荒瀬ダム



# ダム本体による漁業被害

放水口

荒瀬ダム

移動性、気水性の  
生き物減少



荒瀬ダムの下流にも球磨川らしい雰囲気

鉄槩附岩







この下流で産まれた仔魚しか、生きて海に辿りつけない

遥拝堰(農業用水)



下流～河口におけるアオリ漁





球磨川本流の河口

An aerial photograph of a wide river with a light blue-green hue, showing some rapids or turbulent water. The text is centered over the river.

球磨川の昔と  
ダムが出来てから





中流(球磨村)



中流(人吉市)



下流(八代市)



下流(八代市)

暮らしも遊びも生業も川とともにあった

写真: 麦島勝氏





芦北町海路迫(中流)  
※瀬戸石ダム建設のため移転  
写真 麦島勝氏

川のぎりぎりに家を建てても、流されることはなかった



A wide, shallow river with a sandy or silty bed. Several small, dark boats are scattered across the water. The background shows a hilly, wooded shoreline. The water appears somewhat turbid, consistent with the text's description of high sediment levels.

ダムができる前は、川を真っ黒にするほどのアユ  
がいて、多くの専業漁師がいた

(荒瀬ダム下流)坂本村





真っ先に被害が出たのは、アサクサノリだった

写真：麦島勝氏





投網



友釣り



刺し網



ガックリ掛け

# 尺鮎



- 春になると、川を真っ黒にして、稚アユが遡上した
- 深い淵も、アユがいっぱいで、川底が見えなかった。
- 水面を棒でたたけば、アユが5～6匹浮いてきた。
- 石を投げたら、アユにあたった。
- 舟を出すと、アユの方から飛び込んできた。
- 暗闇でも、手づかみでアユが捕れた。
- 一回の漁で、舟が沈みそうぐらいのアユが捕れた。





小学校の時からウナギを捕って小遣い稼ぎをしていた毎日



うなぎてご



地獄釣りの仕掛け



## ウナギと荒瀬ダム

- (上り) 荒瀬ダムの堰堤を超えることができずに、登ろうとするウナギで堰堤が真っ黒になった。数年後にはウナギが登ろうとする少なくなった。
- (下り) 産卵のために下るウナギはみんな発電機に巻き込まれて、ちぎれて放流校からでてきた。数年後には下るウナギがいなくなった。



# 放流時の振動被害

- 家中の建具が音を立てる
- 振動音で眠れない
- 瓦が落ちる
- 外壁・内壁にヒビが入る





ダムの害:ダム湖の水質悪化

夏になると、ダム湖はアオコで覆われ、悪臭を放つ。



## ダムの害：下流への土砂供給阻害

本来は下流へ流されるはずだった土砂は  
ダム湖底にたまりへドロ化する。



球磨川



ダム建設後は、度々大きな水害に見舞われるようになった

S40年7月3日午前10時



おびただしい土砂をもたらす、ダム建設後の水害





ダム上流では、バックウォーターによる水害が頻発



漆口地区(瀬戸石ダムの上流)





## 赤潮の発生

2000年代から、特に酷くなった赤潮で、漁業に甚大な影響を与えた。

2002年夏、牟田沖合

大築島右手延長線上に球磨川河口



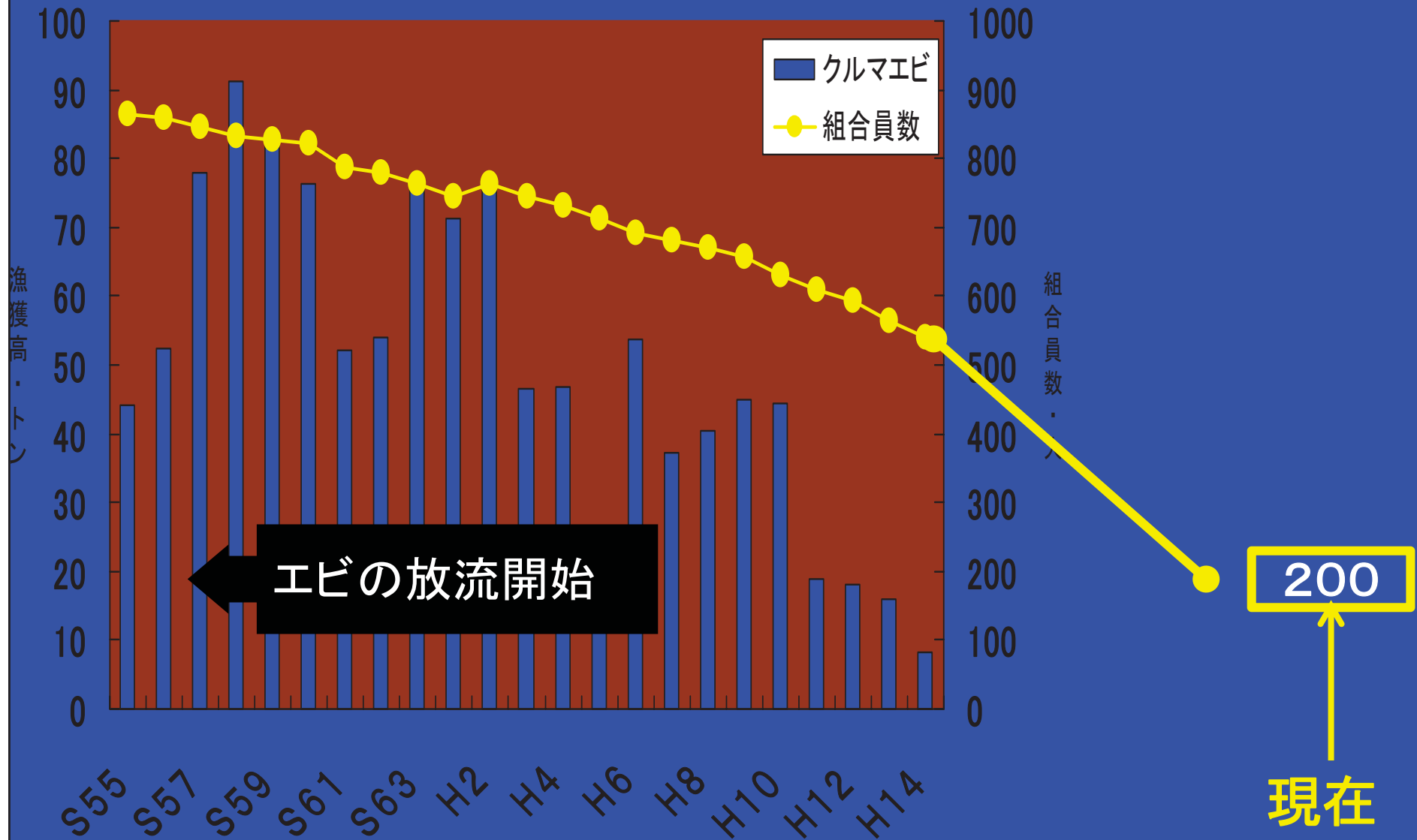


## 球磨川河口のアサリ漁

昭和44年 → 平成12年 → 0 → 平成24年 →  
1トン/1日      200kg/1日                      60kg/1日



# クルマエビの漁獲量と組合員の変化





An aerial photograph of a river with white-water rapids. The water is a mix of white foam and deep blue-green. The text is overlaid in the center of the image.

球磨川・不知火海を守りたい

ダム反対運動



多くの集会や学習会・イベントを開催



八代海の漁業者も「宝の海」を取り戻すため、ダム反対に立ち上がる



# 多くの裁判



尺アユ裁判

# 住民の総力戦・・・住民討論集会

➡ 熊本県が提案・コーディネイト



- 国交省の多くの資料が開示された
- ダムの問題点が明らかになった